

ご挨拶

- ①出身地
- ②研究内容
- ③趣味
- ④好きな言葉



就任のご挨拶

保田 朋波流 大学院医系科学研究科 医学分野 免疫学 教授

- ①広島県
- ②マウス発生工学の手法を用い、リンパ球分化、抗体産生、リンパ腫、癌免疫などの研究を行なっています。
- ③野球、駅伝
- ④正射必中

令和元年8月1日付で、菅野雅元教授の後任として広島大学医系科学研究科免疫学の教授に着任しました保田朋波流と申します。私は駅伝でも有名な世羅町で生まれ育ち、広島城北高等学校に進学しました。人工光合成研究を志し九州大学農学部に進学しましたが癌研究に興味に移り同大学遺伝子資源工学専攻で修士を取得後、癌遺伝子研究で有名だった東京大学医科学研究所の山本雅先生の元で博士（医学）を取得させていただきました。リンパ腫を引き起こす原因として研究していた遺伝子が抗原受容体シグナルの制御に重要だったことが縁で免疫学の研究を行うようになり、東京医科歯科大学・助教、理化学研究所・研究員を経て、2008年から同研究分野の第一人者だったHarvard Medical SchoolのKlaus Rajewsky博士の研究室に留学しました。2011年から2017年までドイツのMax Delbrück Centerで研究に従事した後に帰国し、九州大学生体防御医学研究所・准教授を経て、念願であった広島に戻ってくる事が叶いました。このような機会を授けて頂いた先生方にこの場をお借りして心より御礼申し上げます。

免疫は感染防御だけでなく様々な臓器機能や疾患とも関係することが明らかになりつつあり、実学問としての重要性は益々高まりつつあります。広島大学が当該分野で存在感を発揮できるよう研究と教育の両面で全身全霊取り組んで参る所存です。皆様方からのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



就任のご挨拶

高橋 信也 大学院医系科学研究科 医学分野 外科学 教授

- ①広島県
- ②大動脈手術における脊髄虚血の予防と再生医療、循環器領域における機器開発
- ③音楽鑑賞、バイオリン演奏、料理
- ④困難の中に機会あり

この度、広島大学大学院医系科学研究科外科学の教授を拝命致しました高橋信也と申します。この場を借りてご挨拶申し上げます。

私は広島大学医学部医学科を平成10年に卒業し、当時松浦雄一郎先生が主催されていました広島大学第一外科に入局させていただきました。大学および呉共済病院にて一般外科を3年間研修の後、倉敷中央病院にて心臓血管外科医としての人生をスタートいたしました。その後、左小開胸での冠動脈バイパス術や、後尖縫縮による僧帽弁形成術、心筋症に対する左室形成術など幅広い術式で有名なA.M.Calafiore教授が主催されていたトリノ大学に臨床フェローとして留学させていただきました。学生時代より低体温循環停止による大動脈手術を自分でしたいという思いがあったこともあり、大学院では大動脈手術に関する研究、特に脊髄虚血をテーマとして研究をさせていただきました。動物モデルでの基礎研究や臨床研究を行ううちに、薬剤や冷却による虚血予防法への限界を感じるようになり、テーマを幹細胞を使用した再生医療に変更して継続しています。

循環器領域における機器開発は、様々なものを行ってきましたが、現在は大動脈瘤に対するステントグラフト開発を行っています。汎用性の高い、多くの人に利用して頂けるものをイノベーションするような方向性で研究に取り組んでいます。